

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 薬剤の服用が脳機能に与える影響の解析

【研究責任者】 村松里衣子(神経研究所、神経薬理研究部、部長)

【本研究の目的及び意義】

脳の白質傷害は種々の疾患で認められる所見であり、白質の修復を促すことができれば脳機能の改善につながると期待される。本研究は、薬剤服用歴のある患者の脳機能を評価することで、薬剤が脳機能に与える可能性を検討する。

本研究では、東北メディカルメガバンク機構から分譲するすでに匿名化された服薬情報と脳機能および脳画像データを用いて、薬剤が脳に与える作用を解析する。解析の東北メディカルメガバンク機構が指定する部屋およびコンピューターを用いる。

東北メディカルメガバンク機構から分譲されるデータは、同機構が安全性を確認した指定された部屋のコンピューターからのみアクセスが可能である。解析後のデータは、パスワードをかけたハードディスクを用いて、NCNP 神経研究所神経薬理研究部内でさらに解析を進める。同ハードディスクには研究担当者のみがアクセスできるパスワードをかけて、研究担当者のみが知り得るパスワードをかけたコンピューター内で情報を保管する。

匿名化済みの認知機能検査情報、脳画像情報および付随情報(服薬歴、性別、年齢等)投薬群 100 例、対象群 100 例を解析に用いる。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

東北メディカルメガバンク機構にデータを提供された方で、本研究の対象である薬剤の服用歴がある方
利用する試料・情報等

情報等：脳画像情報、認知機能検査情報および検体の付随情報(服薬情報、性別、年齢、疾患罹患歴、等)

研究期間

研究実施許可受領後から2028 年 9 月 30 日まで

【共同研究機関】

国立精神・神経医療研究センター
東北メディカル・メガバンク機構

研究責任者 村松里衣子(研究代表者)
機構長 山本雅之

○問い合わせ窓口

作成年月日：2023 年 10 月 16 日 第 1 版

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所

所属 神経薬理研究部 氏名 村松里衣子

電話番号 042-346-1725

e-mail:muramatsu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)